



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 株式会社アイナボホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7539 URL <http://www.ainavo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部一成
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 奥山学志 (TEL) 03-4570-1316
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績(2023年10月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	22,839	6.5	693	43.3	766	36.3	477	49.4
2023年9月期第1四半期	21,449	10.6	483	△24.4	562	△20.9	319	△59.2

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 477百万円(34.9%) 2023年9月期第1四半期 354百万円(△53.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	41.28	—
2023年9月期第1四半期	27.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	45,373	24,347	53.7
2023年9月期	44,002	24,179	55.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 24,347百万円 2023年9月期 24,179百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	23.00	—	21.00	44.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	22.00	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	6.9	2,100	18.6	2,300	11.2	1,450	13.8	125.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期1Q	11,647,820株	2023年9月期	11,647,820株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	82,045株	2023年9月期	82,045株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期1Q	11,565,775株	2023年9月期1Q	11,565,839株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、四半期決算の補足説明資料を作成しており、四半期決算発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は228億39百万円と前年同四半期に比べ13億89百万円(6.5%)の増収となりました。

損益面につきましては、営業利益は人件費等の販管費は増加したものの売上総利益率の改善により、6億93百万円と前年同四半期に比べ2億9百万円(43.3%)の増益、経常利益は7億66百万円と前年同四半期に比べ2億3百万円(36.3%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は4億77百万円と前年同四半期に比べ1億57百万円(49.4%)の増益となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

(戸建住宅事業)

戸建住宅の市況につきましては、住宅リフォーム市場の景況感は概ね前年並みで推移しましたが、新築住宅の着工数につきましては戸建分譲、持家ともに前年割れが常態化しており、今後さらなる低水準での推移も懸念される状況となりました。

このような事業環境のもと、タイル及び建材関連販売につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、住宅向けの自社ブランドタイル及び内装建材の販売が増加したことによるものであります。タイル及び建材関連工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、サッシ工事が増加したことによるものであります。住宅設備機器関連販売及び工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、ユニットバス、キッチン、衛生陶器、太陽光発電機器の受注が増加したことによるものであります。

以上の結果、戸建住宅事業の売上高は、193億59百万円と前年同四半期に比べ10億91百万円(6.0%)の増収、セグメント利益は7億22百万円と前年同四半期に比べ69百万円(8.8%)の減益となりました。

(大型物件事業)

大型物件事業の市況につきましては、マンションの新築着工数、民間非住宅投資、公共建設投資はいずれも前年並みか若干下回る状況で推移し、先の見通しが立てづらい状況となりました。

このような事業環境のもと、タイル及び石材工事ににつきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、前期に子会社化した石材工事会社が連結業績数値に加わったことによるものであります。住宅設備販売及び工事につきましては、売上高は前年比マイナスで推移しました。その主な要因としましては、集合住宅の着工減や競争激化により受注量が減少したことによるものであります。

空調衛生設備工事につきましては、売上高は前年を上回りました。主な要因としましては、コロナ禍後の民間改修工事が再開したことや公共物件工事が順調に進捗したことによるものであります。

以上の結果、大型物件事業の売上高は、34億80百万円と前年同四半期に比べ2億98百万円(9.4%)の増収、セグメント利益は1億64百万円と前年同四半期に比べ39百万円(31.9%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億70百万円増加し、453億73百万円となりました。これは主として、未成工事支出金が9億32百万円、受取手形・完成工事未収入金等が8億65百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ12億3百万円増加し、210億26百万円となりました。これは主として、支払手形・工事未払金等が11億8百万円、ファクタリング未払金が6億43百万円、短期借入金が4億17百万円増加した一方で、未払法人税等が4億6百万円、未払費用(流動負債、その他)が8億98百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億67百万円増加し、243億47百万円となりました。これは主として、利益剰余金が1億67百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想につきましては、2023年11月13日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,246,176	10,712,442
受取手形・完成工事未収入金等	14,383,189	15,248,625
商品	905,569	1,106,508
未成工事支出金	2,960,167	3,893,074
販売用不動産	601,624	634,974
その他	1,087,487	728,392
貸倒引当金	△17,003	△19,630
流動資産合計	30,167,212	32,304,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,313,291	1,316,608
機械装置及び運搬具(純額)	5,689	8,689
工具、器具及び備品(純額)	92,913	92,785
土地	5,145,860	5,145,860
リース資産(純額)	43,821	47,770
建設仮勘定	4,957	498
有形固定資産合計	6,606,533	6,612,212
無形固定資産		
のれん	90,702	331,852
その他	127,115	114,726
無形固定資産合計	217,818	446,578
投資その他の資産		
投資有価証券	2,274,380	2,298,562
長期貸付金	5,000	10,760
退職給付に係る資産	753,878	760,169
繰延税金資産	532,115	309,411
その他	3,561,944	2,745,548
貸倒引当金	△116,337	△114,369
投資その他の資産合計	7,010,981	6,010,082
固定資産合計	13,835,333	13,068,873
資産合計	44,002,545	45,373,261

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	9,100,863	10,209,512
ファクタリング未払金	4,355,684	4,999,248
短期借入金	290,938	708,740
リース債務	18,124	19,574
未払法人税等	429,949	23,286
未成工事受入金	1,203,625	1,412,871
完成工事補償引当金	51,116	53,253
工事損失引当金	47,746	48,948
その他	2,773,082	2,002,912
流動負債合計	18,271,131	19,478,347
固定負債		
長期借入金	171,850	159,258
リース債務	30,079	32,560
繰延税金負債	83,072	105,093
役員退職慰労未払金	357,794	359,405
退職給付に係る負債	100,035	99,279
その他	809,065	792,153
固定負債合計	1,551,896	1,547,749
負債合計	19,823,027	21,026,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	896,350	896,350
資本剰余金	1,360,916	1,360,916
利益剰余金	21,314,702	21,482,004
自己株式	△33,652	△33,652
株主資本合計	23,538,316	23,705,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304,945	316,658
退職給付に係る調整累計額	336,255	324,887
その他の包括利益累計額合計	641,201	641,546
純資産合計	24,179,517	24,347,164
負債純資産合計	44,002,545	45,373,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2023年12月31日)
売上高	21,449,896	22,839,312
売上原価	18,504,610	19,534,579
売上総利益	2,945,286	3,304,732
販売費及び一般管理費	2,461,403	2,611,272
営業利益	483,882	693,459
営業外収益		
受取利息	2,771	808
受取配当金	9,678	12,758
仕入割引	23,054	24,049
不動産賃貸料	26,835	28,610
その他	30,765	22,020
営業外収益合計	93,105	88,247
営業外費用		
支払利息	3,150	3,636
支払手数料	835	1,920
不動産賃貸原価	9,809	9,460
その他	698	241
営業外費用合計	14,494	15,258
経常利益	562,493	766,448
特別損失		
固定資産除却損	3,647	204
抱合せ株式消滅差損	11,264	—
特別損失合計	14,912	204
税金等調整前四半期純利益	547,581	766,244
法人税、住民税及び事業税	26,625	44,068
法人税等調整額	201,472	244,779
法人税等合計	228,097	288,848
四半期純利益	319,483	477,396
親会社株主に帰属する四半期純利益	319,483	477,396

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	319,483	477,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,867	11,712
退職給付に係る調整額	△13,334	△11,367
その他の包括利益合計	34,532	344
四半期包括利益	354,016	477,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	354,016	477,741
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、当社の非連結子会社であった株式会社ミックは、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,182,134	18,267,761	21,449,896	—	21,449,896
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	1,224	1,224	△1,224	—
計	3,182,134	18,268,986	21,451,121	△1,224	21,449,896
セグメント利益	124,795	792,195	916,991	△433,108	483,882

(注) 1 セグメント利益の調整額△433,108千円はセグメント間取引消去70,823千円と各報告セグメントに配分していない全社費用△503,931千円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,480,305	19,359,006	22,839,312	—	22,839,312
セグメント間の 内部売上高又は振替高	163	2,247	2,411	△2,411	—
計	3,480,469	19,361,253	22,841,723	△2,411	22,839,312
セグメント利益	164,560	722,752	887,313	△193,853	693,459

(注) 1 セグメント利益の調整額△193,853千円はセグメント間取引消去123,353千円と各報告セグメントに配分していない全社費用△317,207千円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。